

ちよつといし話

～ 戦争と供養 ～

2月8日間々観音の春期大祭が皆様のお陰を頂きまして無事に終了致しました。心より御礼申し上げます。今回、初めて大東亞戦争で犠牲になられた方々（否軍人を含む）の為に追悼特別大施餓鬼会を厳修する事が出来ました。供養の必要性を聞かされたのは平成13年6月8日に大分県の宇佐八幡宮へ詣でた折り神様よりの達示です。内容は戦争犠牲者の供養が滞っているから魂が悪霊化してしまい、その結果、子供の事件災難が増えるとの説明を頂きました。しかしながら頼まれた法要儀式に難しい点があり、とても我が寺では出来ない事と思い悩みながら長い参道を帰りました。門前で昼食を取る為に食堂に入り注文をすませ何気なくテレビを見ていますと、池田小学校の事件が放映されたのです。誠に持って奇遇な体験をさして頂きました。以来、この事が脳裏から離れず何とかしなければ、と思いつつ子供の関与する事件の多さに心を痛めて参りました。やっと今年その難しい希望が適い大法要が厳修出来たのです。お力添えを頂いた方々には深く御礼を申し上げます。只1回や2回で満足されるはずはなく、何回も法要をしなくてはならず、まだまだ大変な事なのです。今後も皆様方のお力添えを頂きながら何とか希望を適えて上げられたら良いと思います。一日も早く子供達が犠牲にならない時代が来る様にしてやりたい。駈 駈

善入院油掛地藏尊